

平成 26 年度 『細江あすなろ作業所』 事業報告書

1. 利用状況

*利用者の状況 定員 20 名

利用者 19 名 (男 13 名 女 6 名)

	利用者人数 (単位: 人)	
	男	女
60 歳代	1	1
50 歳代	3	0
40 歳代	1	2
30 歳代	3	1
20 歳代	5	2
10 歳代	0	0
計	13	6
合計	19	

※平均年齢 37.5 歳

障害支援区分	人数
3	4
4	9
5	6
6	0
合計	19

利用者本人の住居状況	人数
自宅	11
法人内グループホーム	4
四季の郷	2
他法人グループホーム	1
他法人の入所型施設	1
合計	19

2. 作業状況

開所日数 252 日

- ①下請作業
- ・エイテック (有) 自動車部品の組み付け
 - ・ティージー (株) オートバイ部品 (鍵) の組み付け
 - ・丸博 自動車部品の組み付け
 - ・鈴代商店 (株) レトルド食品の袋入れ
 - ・とんきい レトルト食品の袋入れ
 - ・野澤政務調査事務所 機関紙の封筒入れ
- ②自主製品
- ・せっけん作り
 - ・ぼかし作り
- ③その他
- ・アルミ缶の回収

【自主製品の販売】

①販売方法

- ・作業所
- ・イベントにての販売

気賀高ひろおか祭・ふれあい広場・ほのぼのマーケット・農協祭

②委託販売 細江町社協・三ケ日町社協・奥浜名湖商工会・船越造園・咲夢茶店・

ささゆりの里・とんきい・渡辺精肉店・竜ヶ岩洞

※障害者優先調達法に伴い、浜松市立幼稚園からのせっけん注文が徐々に増えてきた。

3. 活動状況

開所30周年ということで利用者が主役として発表できる場を開所した10月18日を目標に、年明けと同時に練習を積み重ねミュージカルとゴスペルグループとの共演を行うことができた。

高齢と障害の重度化のなかで下請け作業の活動が難しくなるなか、どんな表現活動が個々の利用者が輝くことができるか模索する年のスタートでもあった。

特に26年度は芸術、音楽の部分に焦点を絞り、活動の中に取り入れて行ったが、声を発しない人がマイクを向けると声を発したり、身体で表現したりと変化がみられた。

前年度に引き続き日中活動が単調にならないよう、目新しいプログラムを取り入れながら、利用者が楽しめる活動に努めた。

また、年齢の幅もひろがり、若年層にはエネルギーの発散、高齢層には体力の維持を目的に体力面での支援もおこなった。午前は生産活動を行い、個々の能力にあった生産活動の中で作業に必要な集中力や持続力、技術、知識が習得できる支援を行った。しかし、生活介護の事業所を利用する利用者の中には企業からの下請け作業には興味を示さず必ずしもむいている利用者ばかりではなかった。その利用者には午前も散歩を取り入れた。

午後は気分転換、体力づくりを中心に主に散歩とダンスを行った。

- ・月1回 インストラクターによるヨガ
- ・月1回 インストラクターによるレクダンス
- ・月1回 音楽講師による音楽療法
和太鼓の練習
フラダンス

自立支援に関しては、一人でやれることのみでなくその内容に関しても一人ひとり確認したり、ADLに関しても、関わりを多く持つことで利用者との関わりをより深いものになるよう努めた。

- ・歯磨き・手洗いについては職員が必ず仕上げを行った。手洗い後のタオルに関しては、毎日変えてもらい、できない利用者については毎日作業所でその日の分を手渡した。
- ・衣服についても、身体にあったものを着用し、作業所にきてから必要に応じて着替えをしてもらった。
- ・食事に関しては、噛まずに飲み込む利用者については極力声掛けをして、噛む時間を長くもってもらおう支援を行った。